

7 瀬戸内海の環境保全対策

(4) 発生負荷量の推移

瀬戸内海における化学的酸素要求量（COD）の発生負荷量は、瀬戸内海環境保全特別措置法に基づく総量規制が導入された昭和54年度以降減少している。

瀬戸内海におけるCOD発生負荷量の推移を図7-5に示す。

また、全りんについては昭和54年から、全窒素については平成8年から削減指導が行われ、平成13年から水質汚濁防止法に基づく総量削減が導入されている。窒素及びりんの発生負荷量の推移を図7-6、7-7に示す。

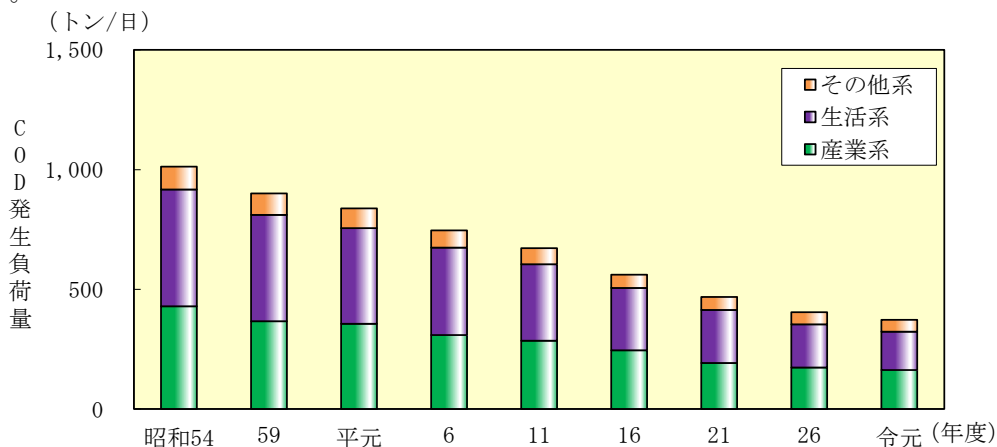


図7-5 瀬戸内海におけるCOD発生負荷量の推移

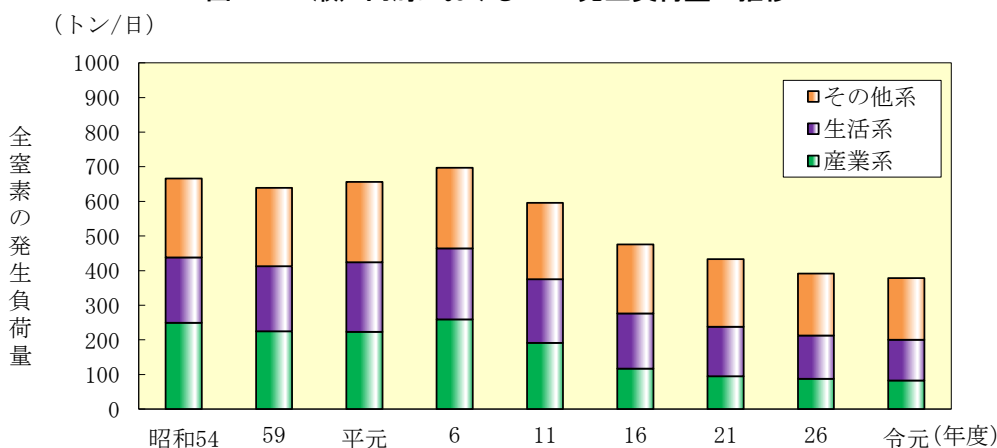


図7-6 瀬戸内海における全窒素発生負荷量の推移

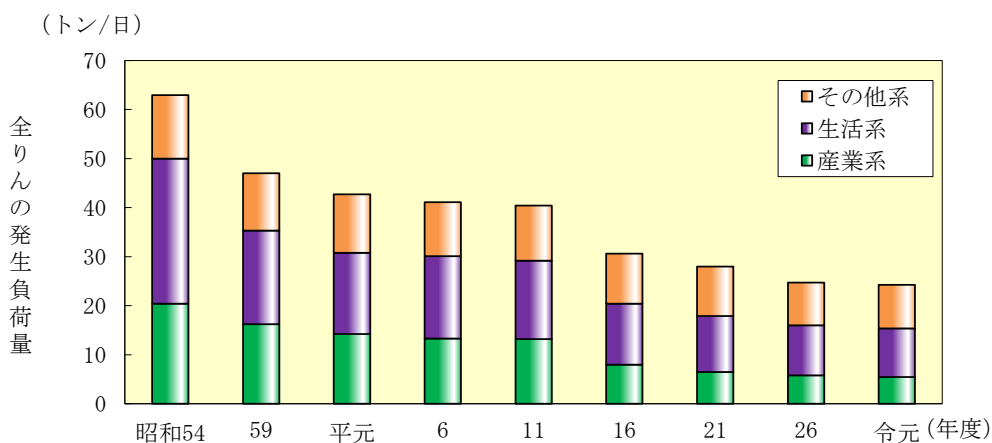


図7-7 瀬戸内海における全りん発生負荷量の推移